



200万円が4年で1億に！ DAIBOUCHOU氏が考える 「割安高配当株・割安成長株」の探し方とは？ ～保有株も大公開～

※引用した図表、文章、データの著作権は引用先にあります。

※投資は自己責任です。いかなる投資結果、失敗、損失にも責任を持ってません。

※紹介される銘柄は説明の為であり、投資推奨の意図はありません。

出典：東洋経済新報社の私の著書と
私の似顔絵（絵：村野千草氏作）

Copyright (C) DAIBOUCHOU All rights reserved.

2024年11月21日（木）

DAIBOUCHOU（大膨張）

200万円が4年で1億に。
具体的にどんな投資で、
資産はどう推移しましたか？

日経平均株価 週足チャート 2000年～2004年



東証小型株 週足チャート 2000年～2004年

日付 2004/12/30 始値 1,559.59 高値 1,581.52 安値 1,558.05 終値 1,578.20



当時、なぜ私は大儲け出来たのか？

【**小型**】 **地政学リスク**や**不良債権処理**などで**大型株**が不調だったが、小型株は相対的に堅調だった。

【**環境**】 **ネット証券**で売買が手軽になったが、**ADSL普及**が始まった頃で、株式投資の情報サイトや**SNS**が不十分だった。

【**手法**】 当時は**デイトレ**が人で、**バリュエーション**の考え方や、企業や決算の情報分析が今ほど一般的ではなかった。

【**割安**】 資産バリュー株の経験から、**割高株**を買って損する事が無かった。

【**資金**】 新興不動産株の**格安IPO**という投資機会に対して、**信用取引**も活用して最大限の**投資利益**を得る努力をした。

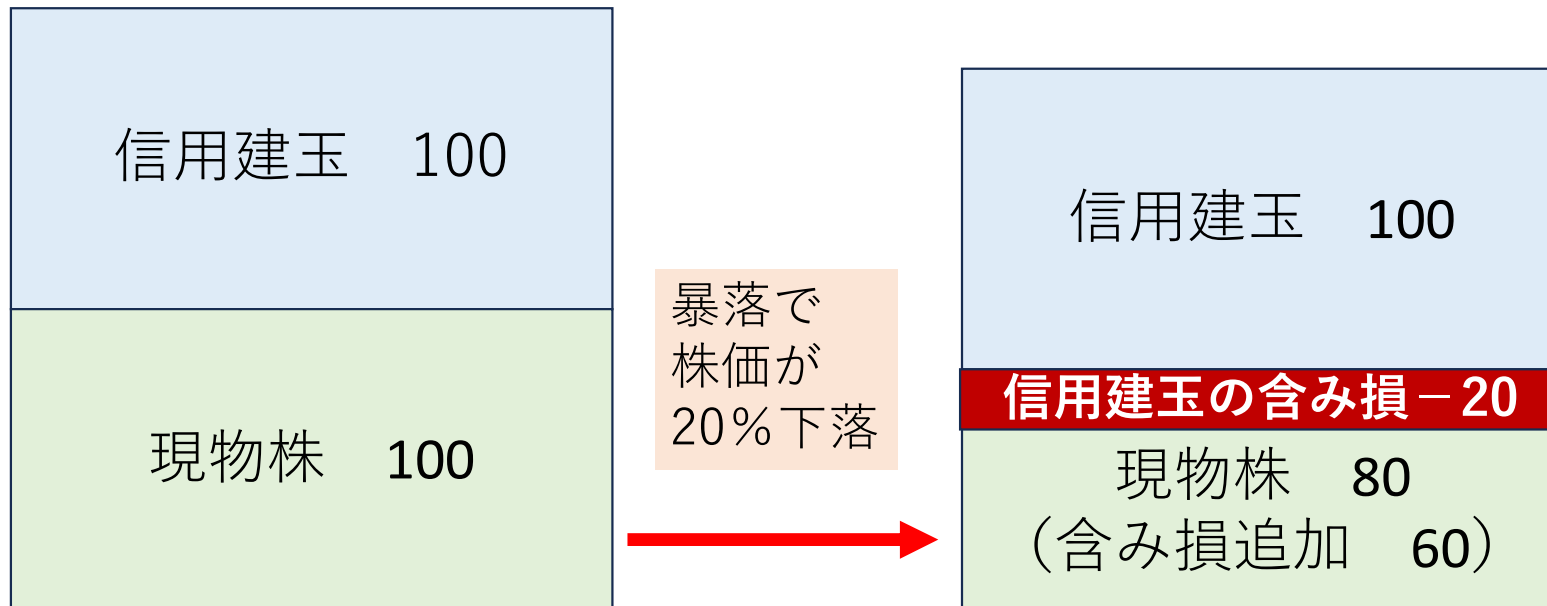
【**HP**】 **不景気**で家は売れないという決め付けに対して、HPで**完売確認**を行い、業績予想達成と分かった上で**決算勝負**が出来た。株価反応も良かった。

今まで多くの暴落・市場の荒波
を経験したと思いますが、
暴落時の対応や
利確・損切の基準は？

暴落対処は信用取引、現金の有無による。

【**保有**】 信用比率、現金比率の状況で**対処法**は変わります。

以下、フルポジ**100** + 信用取引買い**100**上乗せ（信用比率**100%**）の場合



現物株と信用建玉の損失合計は**40**。

現物株（純資産）は**100**から**60**に減少。

現物株**60**に対して信用建玉**100**で信用比率**167%**と危険水準に上昇。

信用取引は暴落で売られる。

【信用取引×暴落】信用担保価値（純資産）が減少し、**信用比率**が上昇。

信用取引と暴落の相性は悪く、保有継続が難しく、売られる。

	8月1日	8月2日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日
前場売却	12498260	29614760	18289740	3489210	9377680	907600	2601000
後場売却	9291660	13992730	39319960	5209760	0	1529700	2029400
売却合計	21789920	43607490	57609700	8698970	9377680	2437300	4630400
購入合計	1352610	2248000	157500	4659270	1351300	4794750	6053600
売買差	-20437310	-41359490	-57452200	-4039700	-8026380	2357450	1423200
無売却?	-2%	+8.2%	+19.8%	←売却せずに8月30日まで保有した場合の平均値。			

売買タイミング

【**売買の基本方針**】 相場予想はしない。

売買タイミングに**優位性**が無いと考えて、私が良いと思う銘柄は、今後上昇する**確率**が高いと考えて、すぐに買う。悪いと思う銘柄は逆。

【**株価上昇＝割高？**】

- ・ バリューストック投資の原則では、株価**上昇**して**割高**になれば売却すべき。
- ・ しかし、成長性が評価されて**成長株投資家**が買い始める事も良くある。
- ・ **含み益**がある状態で、更なる**上値**が狙える美味しいタイミングです。
- ・ 経験上、急いで売るより引っ張った方が儲かる可能性が高い印象です。
- ・ だから、売却したい株価水準でも我慢して**保有継続**して引っ張る。

引っ張った後の売却タイミング

- ・成長株投資家は、多くが**トレンドフォロー**志向です。上昇局面で買い、下落局面で売る傾向がある。彼らの投資基準に合わせて売買する。
- ・株価が**上髭**を付けて下落した時、ボックス相場の**下値**が割れた時のように、**下落局面**に転換したと思えたら**売却**する。
- ・上昇相場途中の一時的な**株価調整**で**売却**する事もあるが諦める。



割安高配当株の探し方は？
バリュートラップの見極め方は？

割安高配当株の探し方は？？

【**投資方針**】 配当を得る事より、**配当性向**の上昇や**DOE**の設定など、株主還元改善による**株価上昇**を狙いたい。

【**配当性向**】 **純利益**に対する**配当金**の**割合**。決算説明資料に方針が示される。PERが低い会社が**配当性向**を改善すると、配当利回りが上昇する。

【**DOE**】 **株主資本**（純資産）に対する**配当金**の**割合**。赤字もあり得る純利益に比べて、株主資本は減多に減らず、配当金を底支えする。

【**増配**】 中期経営計画で配当性向を**徐々に増やす**方針があれば、長期で増配と株価上昇が期待できる。

【**財務**】 **配当余力**が十分あり、安定的に業績が**増益**する会社が理想的。

日付 2024/11/18 始値 1,990 高値 2,134 安値 1,978 終値 2,125



決算期	修正日	修正方向	売上高	営業益	経常益	最終益	修正配当
2021.06	20/08/14	初	30,628	1,121	961	589	13.6
	21/08/13	実 ↓ ↓ ↓ ↑ →	30,529	978	897	595	13.6
2022.06	21/08/13	初	30,605	1,226	1,083	620	14.3
	22/02/14	修 → ↑ ↑ ↑ ↑	30,605	1,301	1,165	646	15
	22/07/19	修 ↑ ↑ ↑ ↑ →	31,524	1,435	1,301	716	15
	22/08/12	実 ↑ ↑ ↑ ↑ ↑	31,607	1,498	1,355	826	19
2023.06	22/08/12	初	34,510	1,508	1,371	838	20
	23/07/31	修 ↑ ↑ ↑ ↑ →	36,234	1,589	1,468	938	20
	23/08/14	実 ↑ ↑ ↑ ↑ ↑	36,239	1,603	1,482	961	22
2024.06	23/08/14	初	37,760	2,006	1,677	1,104	25
	24/08/13	実 ↑ ↑ ↑ ↑ ↑	42,065	2,726	2,507	1,638	37
2025.06	24/08/13	初	53,294	3,526	3,101	2,279	105

会社情報

アンビション DX ホールディングス

英語社名 AMBITION DX HOLDINGS Co., Ltd.

会社サイト <https://am-bition.jp/>

概要 都内中心に賃貸住宅を借り上げサブリース。不動産売買・管理や賃貸仲介も。

業種 不動産業

テーマ [不動産関連][サブリース][賃貸仲介][不動産流動化][不動産テック][デジタルトランスフォーメーション][ブロックチェーン][電子認証][シェアリングエコノミー][民泊][家具][サブスクリプション]

日付 2024/11/18 始値 2,016 高値 2,099 安値 2,013 終値 2,080



決算期	修正日	修正方向	売上高	営業益	経常益	最終益	修正配当		21/05/14 初	182,500	4,000	4,600	3,000	—
2020.03	19/05/10 初		246,600	12,000	13,400	6,800	100	2022.03	21/11/12 修 ↓ ↓ ↓ ↓ -	173,000	2,000	4,000	800	5
	19/08/09 修 ↓ ↓ ↓ ↓ →		245,300	11,300	12,600	3,000	100		22/05/13 実 ↓ ↑ ↑ ↑ ↑	165,961	2,181	5,150	1,350	8
	19/11/08 修 ↓ ↓ ↓ ↓ →		235,500	9,000	9,700	-2,000	100		22/05/13 初	184,500	5,900	6,200	2,400	14
	20/03/11 修 ↓ ↓ ↓ ↓ →		219,000	-400	400	-20,300	100	2023.03	22/11/11 修 ↑ ↑ ↑ ↑ ↑	188,300	7,300	9,000	3,600	21
	20/05/08 修 ↓ ↑ ↑ ↑ ↓		217,696	818	1,530	-16,900	50		23/05/12 実 ↓ ↑ ↓ ↑ ↑	185,580	7,473	8,734	4,278	26
	20/05/15 実 → → → → →		217,696	818	1,530	-16,900	50		23/05/12 初	197,000	11,000	11,000	7,000	42
2021.03	20/05/15 初		—	—	—	—	—	2024.03	23/11/10 修 ↓ ↑ ↑ ↑ ↑	194,500	11,400	11,700	7,200	60
	20/11/10 修 - - - - -		172,300	-12,800	-10,300	-29,200	0		24/05/10 実 ↓ ↑ ↑ ↑ ↑	193,687	11,918	12,503	10,089	65
	21/05/14 実 ↓ ↓ ↓ ↓ →		161,404	-14,404	-11,436	-38,887	0	2025.03	24/05/10 初	198,800	13,000	13,300	9,100	61
									24/11/12 修 ↓ ↑ ↑ → ↑	198,600	13,800	13,850	9,100	127

割安成長株の探し方は？
成長株投資はリスクが高くない？

割安成長株の探し方は？

【**PER**】 PERを投資家の**成長期待感**と捉えて、期待が高すぎる成長株は外す。

【**ROE**】 ROEは**資産効率**の良さを示し、**資産増加率**も高くなる。

・ $ROE = \text{純利益} \div \text{株主資本}$ （ $EPS \div BPS$ でも計算できる。）

【**ROA**】 株主資本に**負債**を加えた**総資産**での資産効率が分かる。

・ $ROA = \text{純利益} \div \text{総資産}$ （経営分析では経常利益、営業利益も使う。）

【**市況**】 **不景気**に強い業態なのか？ **好景気**のおかげで好決算なのか？

【**事情**】 株価が割安である**事情**を探す。知名度、業界、財務、時価総額？

日付 2024/11/18 15:30 始値 13,000 高値 13,230 安値 12,740 終値 12,750

3498 霞ヶ関キャピタル

東証P 15:30

業績 ↑

★ 12,750円 前日比 -390 (-2.97%)

不動産業

PTS -円 単位 100株

PER 12.5倍 PBR 4.67倍 利回り 1.88% 信用倍率 3.44倍

時価総額 1,257 億円



決算期	売上高	営業益	売上営業利益率	ROE	ROA	総資産回転率	修正1株益
連 2018.08*	4,041	370	9.16	42.83	8.71	1.55	21.4
連 2019.08	5,352	699	13.06	39.55	8.47	1.04	81.8
連 2020.08	8,008	326	4.07	4.95	1.74	1.04	21.7
連 2021.08	14,295	1,328	9.29	18.25	6.75	1.22	121.4
連 2022.08	20,780	2,141	10.30	14.51	4.48	0.91	132.9
連 2023.08	37,282	4,442	11.91	20.25	5.52	1.00	253.2
連 2024.08	65,685	8,537	13.00	26.49	8.28	1.08	541.7
連 予 2025.08	95,000	16,500	17.37	37.24	12.90	1.23	1,016.2

会社情報

霞ヶ関キャピタル

英語社名 Kasumigaseki Capital Co.,Ltd.

会社サイト <https://kasumigaseki.co.jp/>

概要 不動産コンサル業。再生可能エネ発電施設、投資用不動産の開発、投資家に売却。

業種 不動産業

テーマ [不動産投資][不動産再生][不動産関連][コンサルティング][ホテル][物流][倉庫][再生可能エネルギー][太陽光発電関連][メガソーラー][バイオマス発電][風力発電][ショッピングセンター][超高齢社会][2018年のIPO]



決算期	売上高	営業益	売上営業利益率	ROE	ROA	総資産回転率	修正1株益
単 2015.12	17,173	2,657	15.47	11.02	7.98	0.88	63.2
単 2016.12	16,908	1,935	11.44	7.64	5.30	0.78	46.5
単 2017.12	21,489	2,379	11.07	9.78	5.76	0.80	63.0
単 2018.12	28,828	2,782	9.65	10.31	5.34	0.85	72.7
単 2019.12	29,333	3,030	10.33	-9.97	-4.33	0.73	-69.4
単 2020.12	22,477	2,275	10.12	12.88	5.32	0.54	88.1
単 2021.12	20,572	3,044	14.80	16.22	7.65	0.50	125.4
単 2022.12	20,878	3,742	17.92	13.09	6.56	0.48	113.8
単 2023.12	22,463	4,155	18.50	11.73	5.92	0.47	111.3
単 予 2024.12	24,400	4,650	19.06	11.82	5.78	0.46	121.3

会社情報

エリアリンク

英語社名 Arealink Co.,Ltd.

会社サイト <https://www.arealink.co.jp/>

概要 不動産サブリースが主力。不動産再生利用が柱。トランクルームレンタルやオフィスで運用。

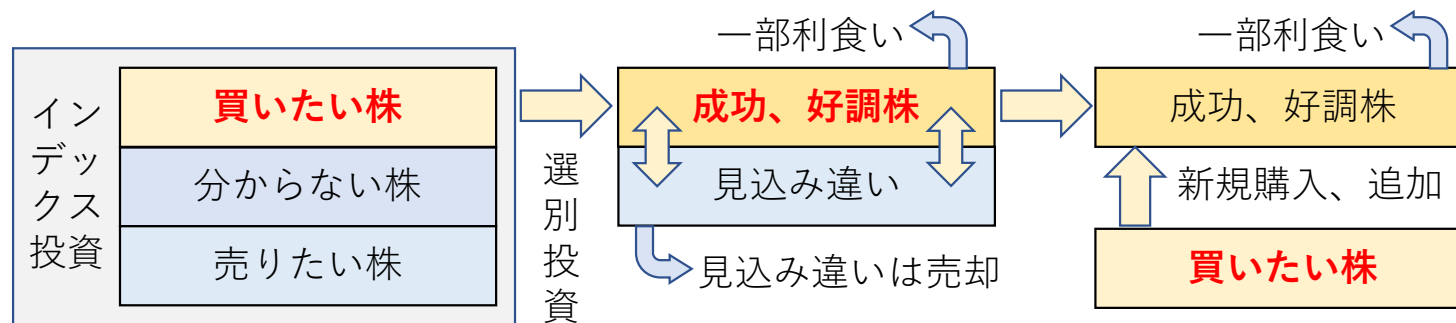
業種 不動産業

テーマ [不動産関連][サブリース][トランクルーム][倉庫][不動産再生][不動産流動化][貸会議室][シェアオフィス][レンタル][駐車場]

ポートフォリオの見直し
分散方法は？
DAIBOUCHOUさんの
ポートフォリオは？

私の分散投資の目的と特徴

- インデックス投資だと、**業績不振**や**超割高株**など投資対象外な銘柄も混ざる。駄目な株を排除して、**良い株**だけを選べば、より良い成果が出るはず。



- 集中投資**は上昇相場の**機会損失**リスクがある。また、銘柄の取捨選択が**逆効果**になる恐れもある。
- 相対的に**銘柄を比較**し、柔軟に銘柄シフト出来る。
- 銘柄当たりの投資金額を減らし、悪材料発生で**損切り**しやすくする。

保有株の構成要素（成長系）

【勝負銘柄】

- ・ **成長性**、**テーマ性**などで、大きな株価上昇が期待できる。
- ・ 割安さ、底堅さを**犠牲**にしながら、**株価上昇**、**投資成績**の牽引を狙う。

例：三井海洋開発（6269）、JIA（7172）、U-NEXT HD（9418）、霞ヶ関キャピタル（3498）、グローバルLM（3486）、楽天銀行（5838）

【割安成長銘柄】

- ・ **ニッチ**な市場で、**ストック性**が高い、着実な成長が期待できる。
- ・ 月次や決算で**状況確認**する程度で済み、後は**放置**出来る。

例：エリアリンク（8914）、ギガプライズ（3830）、アップガレージ（7134）、ジェイ・エス・ビー（3480）、中央自動車工業（8117）

保有株の構成要素（割安系）

【**割安銘柄**】 方向性は3種類。全部の割安要素が合致する銘柄も多い。

【**低PBR**】 含み益込みの**実質資産**に比べて割安。更に**材料**も？

例：イチネンHD（9619）、遠藤照明（6932）、丸藤シートパイル（8046）、
芦森工業（3526）、カメイ（8037）、ニッピ（7932）、青山商事（8219）

【**低PER**】 **好業績**だが、**不人気**、**低配当**などで、株価が十分上がらない。

例：NCD（4783）、SBIリーシングサービス（5834）、日本ドライケミカル
（1909）、ゼロ（9028）、QLS HD（8075）、ヤマエグループ（7130）

【**高配当**】 株価や業績がどうあれ、**配当利回り**が高くて十分魅力的。

例：アンビションDX HD（3300）、SBI HD（8473）、長栄（2993）、ジェ
コス（9991）、毎日コムネット（8908）、シンデンハイテックス（3131）

信用取引でバリュートラップ対策

【バリュートラップ】

- ・株価が**割安**でも材料や魅力が無くて、**株価**が上がらない現象を**バリュートラップ**と呼ぶ。
- ・資産バリュー株には絶対的な割安さがあり、**保有ストレス**が無い反面、投資成績**劣後**の原因になりがちです。
- ・**売却**するか、**保有継続**するか、**信用取引**で増やすかの選択肢がある。
- ・私は、割安株＝**現金相当**と考えて、割安株の分は信用取引で**買い増し**出来る、最低でも信用金利以上儲ければ良いと考えています。

※ 2023年から、PBR1倍割れ解消の機運が高まり、資産バリュー株が買われるようになりました。

自己紹介と 私の投資法の紹介

不動産プチバブルで大成功

- 【開始】 2000年5月から日本株投資を資産バリュー株から始める。
- 【履歴】 金融系の**キャリア**は無し。**独学**で株式投資を学ぶ。
- 【成功】 2002～2005年、**パワービルダーや不動産ファンドの株**を**信用取引**で投資して大成功を収める。
- 【専業】 2004年10月、再就職覚悟の上、1.5億円の資産で専業投資家になった。2006年1月に10億円を達成。
- 【暴落】 2008～2009年のリーマンショックで資産が激減し、**賃貸用不動産**や**米国長期社債**を買った。
- 【再開】 2010年に5千万円を元手に株式投資を本格的に再開。安全重視の割安株、株主優待株への分散投資を行う。
- 【失敗】 株の投資比率は低下し、上昇相場で十分儲けられず。

2002年～2013年

2014年～現在

アベノミクス相場以降

【露出】 2015年8月から**ツイッター**を開始。マネー誌掲載、セミナー活動などを再開。**オフ会**にも参加し、株仲間、学びの機会も増えた。

【攻勢】 2016年後半から余裕も出て、**成長株寄り**にシフトして**信用取引**も再開した。

【分散】 現在、300銘柄以上の分散投資で個別銘柄リスクを回避しつつ、**インデックス + α** の投資成績を目指している。

【著書】 「バリュー投資の億り人が教える 新NISA「成長投資枠」で1億円 10日で学ぶ10年10倍株の探し方」 東洋経済新報社

「DAIBOUCHOU式 新・サイクル投資法」 宝島社

四季報オンライン「超分散投資」連載中。Youtubeにも出演多数。

2002年～2013年

2014年～現在

私の投資家の位置付け

【売買】

細かく売買をするが、

【保有】

保有で儲けるのが基本。

【順張り】

高値ブレイクした好業績株が好き。

【逆張り】

【集中投資】

銘柄選別しつつ300銘柄以上に分散投資。

【分散投資】

【ROE】

資産効率の良い会社（高ROE）が好き。

【PBR】

【PER見ない】

PERは投資家の期待感。期待剥落の急落が怖い。

【PER見る】

私の投資判断の定性基準

- 【**成長**】 **利益成長**しない、期待出来ない株は買わない。
- 【**進捗**】 投資家の期待に比べて、業績進捗が良い。
- 【**独自**】 材料が**陳腐化**されていない。流動性や人気は余り気にしない。好材料発表で、人気は出るはず。
- 【**採用**】 人材**採用数**が多く、**定着率**が良い。
- 【**理解**】 **理解不足**だと、売り時が分からない。
- 【**IR**】 決算説明**資料**や株価上昇の**意欲**がある。
- 【**根拠**】 株価が**2倍**になる可能性もある**強い根拠**がある。
(新商品、新事業、市場環境、競合他社)
- 【**他者**】 買いそうな**投資家層**がイメージできる。
他の投資家を買わない限り、株価は上がらない。

